東京都立福生高等学校

令和 7 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	教科書：現代の国語【大修館書店】 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版【尚文出版】、新訂総合国語便覧2024【第一学習社】

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 1 白紙	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	・言葉の意味内容を考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。	言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。				言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	「読むこと」において、内容や構成，論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握する。	教科書等				「読むこと」において、内容や構成，論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にする。	課題配信等				問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にしようとしている。				
	単元 2 水の東西	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。	具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。				個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握する。	教科書等				「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえる。	課題配信等				積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									1
	単元 3 「動」への変化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。	具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。				個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握する。	教科書等				「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述する。	課題配信等				進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。				
	単元 4 動的平衡としての生物多様性	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解する。	主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。				主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえる。	教科書等	○		○	「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整する。	課題配信等				情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で自らの学習を調整しようとしている。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									1

東京都立福生高等学校

令和 7 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	教科書：現代の国語【大修館書店】 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版【尚文出版】、新訂総合国語便覧2024【第一学習社】

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5 「安くておいしい国」の限界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解する。	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。				文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深める。	教科書等				「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自らの学習を調整する。	課題配信等				図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し自らの学習を調整しようとしている。				
	単元 6 インターネット時代の音楽産業	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	本文における主張と根拠の資料との関係について理解する。	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。				本文における主張と根拠の資料との関係について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	「読むこと」において、本文の構成に注意して読み、資料援用の意図を解釈する。	教科書等				「読むこと」において、本文の構成に注意して読み、資料援用の意図を解釈できている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単元のねらいを理解し、主体的に学習活動に取り組む。	課題配信等				単元のねらいを理解し、主体的に学習活動に取り組んでいる。				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									1
	単元 7 作業ロボットの悲劇	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりする。	目標に即して、文章から必要な情報を読み取る。				主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。	教科書等				「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用する。	課題配信等				積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。				
	単元 8 「美しさの発見」について	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。	示された複数の具体例を比較し、共通点や相違点をとらえさせる。				個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	目的に応じて、文章に含まれている情報を関係付けながら、内容を解釈したり、論理の展開などについて評価したりする。	教科書等	○		○	目的に応じて、文章に含まれている情報を関係付けながら、内容を解釈したり、論理の展開などについて評価したりしている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとする。	課題配信等				複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									1

東京都立福生高等学校

令和 7 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	教科書：現代の国語【大修館書店】 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版【尚文出版】、新訂総合国語便覧2024【第一学習社】

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 9 言葉についての新しい認識	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解する。	具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。				主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握する。	教科書等				文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、より深いコミュニケーションのあり方について考える。	課題配信等				進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、より深いコミュニケーションのあり方について考えようとしている。				
	単元 10 白	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりする。	目標に即して、文章から必要な情報を読み取る。				主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	目的に応じて、文章に含まれている情報を関係付けながら、内容を解釈したり、論理の展開などについて評価したりする。	教科書等				「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用する。	課題配信等				積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。				
	単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									1